

# あなたの声を町政に

13人が町長・教育長・代表監査委員に一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

大山町は、1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

ページ	質問事項	質問議員
13	1. 選挙公約はどう実現するのか 2. 地域自主組織のあるべき姿は 3. 鳥獣被害にどう対処するのか	米本 隆記
14	1. 高麗体育館の老朽化対策は 2. 大山町移住定住助成金について	森本 貴之
15	1. 名和総合運動公園陸上競技場について 2. 緊急情報キット(緊急医療キット、命のカプセルなど)について	池田 幸恵
16	1. 地域活性化につながる観光振興は 2. 郷土に誇りを持ち、郷土を愛する人を育てる教育は	吉原美智恵
17	1. 新町長の町政運営を問う 2. 基金のあり方と債券運用を問う 3. 高校生の通学費に補助を	大森 正治
18	1. これからのまちづくりについて 2. 町政の諸課題について	近藤 大介
19	1. 大山町観光局のあり方について 2. 郷土を学ぶ授業について	大杖 正彦
20	1. 竹口新町長の所信表明の政策実行について 2. 特産大山ブロッコリーの生産拡大についての政策を 3. 道路の側溝、覆いかぶさる枝、表示等の適正な維持管理について	野口 昌作
21	1. 少子化対策について 2. 企業誘致について	大原 広巳
22	1. 「コンプライアンス」の確立、向上の取り組みについて	門脇 輝明
	1. 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消法)制定と今後の課題について	西山富三郎
23	1. 町中に潜む危険について	加藤 紀之
	1. 町長の政治姿勢を問う	岡田 聡

## 一般質問席

議事録は、議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。



米本 隆記 議員

# 巡回バスの復活は

町長

## 外出しやすいように検討する

【米本】選挙戦の中で町民に約束した、次の選挙公約にどう取り組む考えか。

公共交通巡回バスの復活は。

【町長】デマンドバスの利用者には、少し不便をかけている部分もある。巡回バスの復活なども手段の一つとして町民がさらに外出しやすいように検討する。

【米本】高校生の通学助成は。

【町長】現在検討中であるが、公共交通機関の2分の1を助成した時最大で2000万円になる。今後、詳細を詰めて早い段階で議会に提案する。

【米本】不適切事務の解明は。

【町長】商工会の件は刑事事件として告発している。NPO法人の件は住民訴訟を受けているので司法の判断を仰ぎたい。ほかの案件も所轄署に随時、報告・相談をしている。

# 自主組織に求めるものは

町長

## 行政と協働したまちづくり



世代を超えて楽しいつどい

【米本】各校区に地域自主組織が設立されている。しかし、本来あるべき姿と多少違いがあると感じている。この組織に求めるものはなにか。

【町長】地域内で担い手になってもらう人材の発掘や育成、支えあいの活動を通じて集落機能の補完や、集落間の交流促進などの役割を期待している。

また、行政の仕事の一部を担ってもらい協働したまちづくりを進めたい。

# 鳥獣被害の対策は

町長

## 現在の補助制度を継続する

【米本】農産物に鳥獣被害が近年多く発生している。しかし、農家の被害対策にも限度があると考える。被害減少に寄与することは行政の務めと思うが、どう対策を講じる考えか。

【町長】猟友会への駆除委託や捕獲にかかる奨励金の交付、電気柵など侵入防止にかかる支援、狩猟免許の新規取得や更新経費の補助を継続する。

また、新たな取り組みとしてイノシシ肉の特産品化にむけ、大山ジビエ振興会と施設整備に向けて協議中である。



やっかいもののイノシシもおいしい食材に



森本 貴之 議員

# 高麗体育館の今後の老朽化対策は

町長

## 地元要望も反映できるように 検討する



対策を待つ体育館

【森本】町内外から数多くの利用者があり、にぎわいを感じる施設であるが老朽化が心配である。施設の現在までの稼働年数と耐用年数、利用者数の推移は。

【町長】稼働年数は約63年が経過している。耐用年数については、物理的耐用年数の限界にきていると考えている。利用者の推移については、28年度4858人で、27年度に比べ1312人の減少である。

【森本】減少傾向にあるとはいえ、利用者数は多い。利用中の安全性も心配であるが、今後の老朽化対策は。

【町長】公共施設の管理計画を定めており、計画的に検討する。

【森本】耐震性も見直し建て替えをして、避難所へ指定する考えは。

【町長】一般財源で行政が100%出しているだけで地元負担していただけるかも考慮したい。避難所の指定も含め、地元要望も反映できるように検討する。

# 大山町移住定住 助成金の拡充は

町長

## 魅力ある制度に なるよう努める

【森本】大山町移住定住助成金の中で、住宅新築等推進助成について、町内外者ともに40歳をむかえると助成金額が最高100万円から50万円と半額になっているが、その理由は。

【町長】より若者に定住してもらうため、40歳未満の助成を手厚くして実施している。

【森本】この事業のPRはどのようにされているか。

【町長】広報やホームページ、建設会社等に周知している。

【森本】移住方法も様々あるが、より良い子育て環境を求めている移住も増えているように感じる。

助成金の満額対象者

を40代まで上げ、住みたい町・帰ってきたい町として全国にアピールし、より魅力ある事業へする考えは。

【町長】年齢制限は撤廃してもいいかと思うが、どういった影響があるのか、担当課と詳細をつめて検討する。

より魅力ある制度になるよう努める。



移住定住に手厚いサポート



池田 幸恵 議員

# 名和陸上競技場の今後は

教育長

## 財源確保に努め整備したい

【池田】地域の活性化にもつながっている名和陸上競技場の利用状況は。

【教育長】町内唯一の陸上競技施設で、名和マラソンフェスタや、西伯郡の陸上競技大会や記録会、町内のスポーツ少年団陸上部や中学校陸上部の部活動などで使用している。

【池田】8年前に一部改修した100メートル走路も既に劣化しているが整備方針は。



大会で賑わう競技場

【教育長】社会体育施設として、現状の利用状況を維持し、継続して使用いただけるよう、財源確保に努めながら整備をしていきたい。

【池田】公益社団法人日本陸上連盟第3種公認検定が平成30年5月31日をもって期間満了となるが、方針は。

【教育長】鳥取県陸上競技協会の意見も踏まえ検討し、公認を継続できるように取り組みたい。

# 緊急情報キット導入は

町長

## 早急に検討する

【池田】町内の独居並びに高齢者世帯数は約2000世帯だが、救急事案発生時のスムーズな情報取得の必要性は。

【町長】迅速な救急活動につなげていくという目的のために、導入方法などを早急に検討する。

【町長】1分でも早く当事者の情報取得を行うことは非常に重要と考えている。

【池田】事故や急病が発生した場合、最初の10分が症状の悪化や社会復帰率に大きく関与する認識は。

【町長】プラチナの10分と呼ばれるほど命を救う大切な時間で、何を行うかが重要であると考えている。

【池田】本人の意識がなく、病状などを説明できない状態の場合、



緊急情報キット (サンプル)



音原 美智恵 議員

# 地域活性化につながる 観光振興は

## 町長 官民協力した組織で盛り上げる

町長



御幸を盛り上げてにぎやかに

【吉原】伯耆国大山開山1300年の来年は、山陰観光の当たり年となり、他の自治体も取り組みを加速している。

観光は、すそ野の広い産業であり、地域活性化につながる振興策は。

【町長】地域の魅力が再発見できるツアーメニューの開発、拡充に取り組み、官民協力した組織づくりをして盛り上げる。

【吉原】一番に、町民の理解と認識、熱い協力がいるのではないかと。その機運の醸成というところで、1300年祭のロゴポロシャツを、町内の衣料品店で取り扱ってもらい、皆さんに着ていただくことはできないか。

また、大山寺へ行きたいけれど、歩行困難であきらめている人たちへ、かごや人力車の方法でおまわりできる、バリアフリーのお寺として観光力アップしては。

【町長】ポロシャツやバリアフリーについては、担当課と協議し、検討する。

# 郷土を愛する人を 育てる教育は

教育長

## 積極的に取り組み 発信していく

【吉原】本町は、恵まれた自然環境と多くの史跡を有しており、昨年は大山が日本遺産に認定された。

郷土に誇りを持ち、郷土を愛する人を育てることは、日本遺産の有効な活用方法にもなり、住民のみならず子どもたちの自信と誇りを醸成することにもなる。

さらなる啓発は。

【教育長】日本遺産の周知や普及については、広報だいでんで紹介したり、公民館主催の大山学講座で、開山1300年祭や、日本遺産をテーマに開催したりしており、講話の

要望があれば、積極的に対応する。

学校でも地域の資源や歴史について取り組みを充実させている。

【吉原】子どもから熱が入って大人へ広がるということもあり、期

待している。興味が薄い町民をいかに巻き込んでいくのか、その働きかけは。

【教育長】公民館を住民啓発の一番の基として、地域に発信する。



雨中でも熱心に（大山学講座）



大森 正治 議員

# 新町長の町政運営は

町長

## 安心して住み続けられる地域を

【大森】 昨年度発覚した二つの不正事件を教訓に、町行政をどう刷新していくのか問われている。不正事件をどう認識し、どのように対処していく考えか。

【町長】 事件を生んだ大きな要因は、委託側と受託側を一人二役で業務をしていたこと、同一職員が10年以上も同様な部署にいたことなどである。

二つの案件とも司法の判断を待ちたいが、行政内部でも調査を進めている。

司法判断が確定したら、詳しい説明をする。

【大森】 どんな基本理念のもとに、どんな施策を重点に行うか。

【町長】 誰もが安心して住み続けられる地域をつくること。

そのために人口減少を食い止める政策を実行していく。

# 基金のあり方と債券運用は

町長

## 規則にもとづき運用している

【大森】 基金のあり方についてどう認識しているか。

【町長】 条例・規則「資金管理及び運用についての方針」にもとづいて運用している。

ふるさと納税基金は政策のために積極的に活用したい。

【大森】 基金60億円のうち約6割の34億円が債券運用だが、適切か。

【町長】 債券以外の基金が4割ほどあれば、安定的な財政運営が可能と判断した。

資金管理の実績報告は、毎月町長に行う。議会にも報告する。

大山町の基金一覧（平成27年度決算）

# 高校生の通学費に補助を

町長

## 今年度中にスタートさせたい

【大森】 これは町長の公約でもあり、私の公約でもある。住民アンケートでも要望が多い。本町からの通学費の負担は重い。

これへの補助は、子育て支援の具体策として有効な施策と考えるがどうか。

【町長】 実現に向けて担当課が試算などの検討をしている。

半額補助した場合の経費は1500万～2000万円程度。

【大森】 いっから実施予定か。

【町長】 今年度中にはスタートさせたい。



JRの定期代は米子まで年間5～8万円



近藤 大介 議員

# 住民参画のまちづくりは

町長

## 多様な住民意見を生かす



まちづくりの主役は町民

【近藤】これからのまちづくりについて、どのようなまちづくりをめざすか。

【町長】教育・子育て環境の充実、雇用の創出、産業振興にスピード感を持って対処し、子や孫の世代が住み続けられる大山町にした

【近藤】総合計画「未来づくり10年プラン」を町政にどう生かしていくか。

【町長】基本理念の「楽しさ自給率の高いまちへ」の実現に向け、町内で楽しさがどんどん

生まれていくような施策を展開していく。

【近藤】地域自主組織の取り組みをどう進めていくか。

【町長】地域自主組織が担う事業を推進し、行政と住民が協働したまちづくりを進める。

【近藤】住民参画と情報公開についての考えは。

【町長】住民参画と情報公開は自治の基本である。

透明性のある行政を目指し、多様な住民意見を生かした政策を行っていく。

# 買い物弱者の支援は

町長

## タクシー助成で出かけやすく

【近藤】大山診療所の経営改善は。

【町長】鳥取大学医学部との連携を強化し、固定医の確保に努める。

【近藤】農業振興、漁業振興の取り組みは。

【町長】農業の重要課題は担い手・後継者対策であり、就農応援交付金や農業機械導入の支援など、新規就農時の経営確立をはかる。

また、親元就農促進支援交付金事業により後継者の確保をはかる。

漁業振興では、漁業就業者確保対策事業等により新規漁業就業者の確保をしていく。もうかる漁業をめざし、鳥取県漁協と連携しな

がら付加価値を高めるブランド化に取り組み。

【近藤】買い物弱者支援の取り組みは。

【町長】タクシー助成制度を手厚くし、出かけやすくすることを検討する。



高齢者も乗りやすいUDタクシー



大杖 正彦 議員

# 観光業の具現化の主体は

町長

## 立案と責任は町が担う

【大杖】本町は、商工業の発展を目標に「恵みの里」構想の一つの柱として、観光事業を掲げた。

観光業の安定的な発展や新町長の公約でもある「町民と一体となった開山1300年祭の成功」の実現には、目標に向かって組織が戦略的に動くことが重要だが具現化の主体はどこか。

【町長】大山観光のビジョン立案と責任体制は町が担う。



大山観光の新しい窓口となる「こもれびと」

【大杖】大山観光局が100%出資の㈱さんどうの中・長期ビジョンを基に、明確な目標と費用対効果を検証する体制が必要と思うが。

【町長】観光の中・長期ビジョンが目標で㈱さんどうは観光局の動きの中にある。検証は事業実施主体から事業効果の報告をもらい、判断は町が行なう体制を考えている。

# 郷土を学ぶ授業とは

教育長

## ふるさとを愛する心を育む

【大杖】「人づくりは町づくり」これからの素晴らしい大山町を築くのは、子どもたちにほかならない。どのような授業で地域の素晴らしいさを教えるか。

【教育長】学習指導要領に、地域の自然や歴史・文化を学び、郷土を愛する心を育むことが目標とある。

この考えのもと、地域の方をゲストティーチャーとして話を聞いたり、現地で直接聞きしたりする学習を取り入れ、積極的に地域の資源を教材として活用する。

【大杖】乳児の家庭内保育は将来健全な子どもに成長すると聞いて

いるが。

【教育長】乳幼児が親や家族と触れ合いながら、地域のなかで育っていくことがとても大切と考えている。

昨年度、家庭保育支援制度を創設、今年度から県も補助を開始、支給対象を1歳までから2歳までに拡大した。



大山の自然を楽しく学ぶ児童たち



野口 昌作 議員

# 適正な道路管理を

町長

## 関係者と協議する

【野口】トラックの通行障害となる枝が覆う、刈った草は側溝にそのまま、埋まって機能しない側溝、停止線など薄くなった道路表示、壊れたままのガードレール、道路管理の適正化をどのように進めるか。

【町長】道路維持作業員を十名雇用して側溝の清掃、草刈、法面の雑木の伐採を行っている。今後は道路を覆う枝も関係者と協議して対応する。

【野口】香取地区でガードレールが多く壊れている、把握しているか。

【町長】要望を受け延長が長いので毎年少しずつ対応している。

【野口】町管理道路は延長が非常に長い。区長会等で説明し要望を受け、集落と協力して進めたらどうか。

【町長】協力をお願いし、パトロールで改めて現状を把握し管理する。

# 冷蔵施設導入で 活性化を

町長

## 来年度に予算化する

【野口】本町は農業町だが近年、田畑を耕す人の高齢化と若い人は勤めて忙しく農業従事者が少なくなりつつある。

しかし農地は守って後世に引き継がなければならぬ。幸い本町には特産としてブロッコリーとネギがある。

ブロッコリーのつらい仕事に夜間収穫がある。これの解放に冷蔵施設の導入が必要だ。

【町長】収穫時間帯の緩和と鮮度保持対策で「がんばる地域プラン事業」を活用し、来年度導入支援を予算化する。



冷蔵庫で鮮度保持

# 所信表明の政策実行は

町長

## 順次実施する

【野口】若い世代が町外に出て戻ってこないなどの人口問題、まちづくり、財政改革、産業振興などの所信表明の政策実行は。

【町長】大学を出た若者が町内で就きたい仕事とのミスマッチ、住居の三世代対応の難問がある。政策は今議会に提案したものもあるが順次取り組みたい。

【野口】定住希望者に譲渡を前提とした町営住宅を考えないか。

【町長】譲渡でなく賃貸住宅で民間資金を活用したい。



一定の需要がある若者向け住宅



大原 広巳 議員

# さらなる少子化対策を

町長

## 検討を進める

【大原】近年、少子化によって、地域の賑わいが無くなりつつある。

最近の出生数は。

【町長】平成24年80人、25年105人、26年84人、27年119人、28年104人で平均100人ぐらいである。

【大原】小・中学校の今の体制を維持するための目標出生数は。

【町長】120人から130人は確保したい。

【大原】行政が主体となって、さらなる婚活イベントはできないか。



子どもは未来の柱

【町長】登録団体の支援を今後も続けるが、イベント中心だけではないのか、今後、見直しも含めて検討したい。

【大原】子育て世代に多子化を促す対策として、旧大山町が実施していた「就学前までに、3回に分けて100万円の給付金を支援する事業」など考えてみないか。

【町長】当面は、保育料・給食費の無償化や高校生に通学費助成などによって、世代の経済的負担感を軽減し、少子化対策としたい。

# 企業誘致の今後は

町長

## 推進をはかりたい

【大原】大山インター工業団地周辺が動き出している。大山道路の平木・平集落間の、パイパス化やコンビニの進出、さらには住宅団地の造成などである。

関係集落との折衝もあろうが、米子市流通団地が、満杯になった今、積極的に企業誘致するべきと思うが。

【町長】関係集落の理解を得ながら、推進をはかりたい。

また、工場に限らず、事務系の企業も積極的に誘致していきたい。

【大原】若者を中心に起業する人が増えている。現状は。

【町長】町内の30代から40代において、商工業で起業された方は、

平成26年3人、27年3人、28年5人である。

農林水産業では、家業を継いだ人を除いて、平成26年3人、27年9人、28年6人である。

【大原】若者の起業が

大山開山1300年祭と連動して地元雇用拡大につながると思うが。

【町長】観光を通じて地域の活性化につなげていきたい。



進出を待つ工業団地



門脇 輝明 議員

# コンプライアンスの取り組みは

## 組織の風通しを良くし 改善に取り組む

町長

改正後	改正前
第1 総則 1～3 (略) 4 資金運用についての総論 この方針に基づく運用を円滑に行うために、会計管理者は、資金運用を行うときは、町長、総務課長及び財政担当者からなる資金運用会議を置き、検討することとし、会議議案の集約、取引金融機関の健全状況の把握と分析、資金の運用状況等の検討を行うものとする。	第1 総則 4 資金運用についての総論 この方針に基づく運用を円滑に行うために、会計管理者は、必要に応じて、町長、総務課長及び財政担当者との集約、取引金融機関の健全状況の把握と分析、資金の運用状況等の検討を行うものとする。
第2 資金管理の考え方 1～3 (略) 4 資金管理実績の報告 会計管理者は、この方針に基づき、適正に資金管理が行われているか等について、金融機関からの健全性調査に基づき、町長に資金管理の実績報告を行うものとする。	第2 資金管理の考え方 1～3 (略) 4 資金管理実績の報告 この方針に基づき、適正に資金管理が行われているか等について、必要に応じて、町長に資金管理の実績報告を行うものとする。
第3 金融商品の選択 1及び2 (略) 3 基金 (1) (略) (2) 債券の運用については、基金総額の60%以内とする。 (3) (略)	第3 金融商品の選択 1及び2 (略) 3 基金 (1) (略) (2) 債券の運用について (新設) (3) (略) (新設)
第4 資金運用の公表 会計管理者は、会計年度終了後、資金運用の実績を公表し、ホームページで公表するものとする。	第4 見直し (略)
第5 見直し (略)	

附 則  
この方針は、平成29年6月1日から施行する。

資金運用方針の改正

【門脇】「大山町資金管理および運用に関する方針」は問題が多い。財務規則等の定めにより行えば問題は無い。廃止してはどうか。

【町長】必要なルールであり、指摘を踏まえ一部改正した。

【門脇】不祥事はいつでもどこでも起こりうる。

コンプライアンス行動指針を策定しては。

【町長】平成20年7月に既に制定している。

【門脇】不祥事の芽を摘むという面で監査は重要。

独立し充実した監査を実施するために、監査委員会事務局に会計事務に精通した専任職員を配置しては。

【町長】事務局は現状で十分に機能している。必要であれば監査委員の増員を考える。

【門脇】今後の取り組みは。

【町長】不祥事の真相解明、再発防止の取り組みが不十分、責任もあいまいだった。風通しを改善し、コンプライアンスの確立に取り組む。



西山富三郎 議員

# 部落差別をなくす意気込みは

## 一層推進をする

町長



子孫まで差別を残さない

【西山】部落差別解消法が、平成28年12月9日、参議院本会議で自民党、公明党、民進党の共同提案で可決成立し、公布施行された。法律を尊重し、活かし、部落差別解消に取り組む意気込みは。

【町長】国が部落差別の存在を認め、国として解消しなければならぬ課題であることを明確にした。本町が推進してきた取り組みを後押しするものと捉えている。職員・地域・学校で

一層推進をする。

【西山】法律の意義は。【教育長】①部落差別の文言をはじめ盛り込んだ法律である。部落差別の存在を公式に認め、解消を明記した。②部落差別解消の施策・実施を国及び地方公共団体の責務とした。③施策として相談体制の充実、教育、啓発、実態調査を明記した。

町としては、あらゆる人権問題の基本方針、基本計画を策定する。

# 危険な場所への対応は

町長

## 要望を受けて対応する



加藤 紀之 議員



転落事故のあった御来屋地内の水路

【加藤】後援会活動のさなか、比較的人口が集中する街中に危険と思われる場所が見受けられた。

例えば、下市川に並行する道路にはガードレールがなく、転落すれば大ケガの恐れがある。また、御来屋には転落しケガをされた水路もある。

こういう危険な場所について、どう考えるか。

【町長】下市川の河川管理道は、県が管理者である。ガードレールなどを設置する場合に

は、管理者の許可を受ける必要がある。地元の要望を受けて対応する。

御来屋の水路は、集落環境整備事業を利用してもらうよう伝えている。

【加藤】高齢化した集落では、この制度も利用しづらいこともあるが。

【町長】集落でできなかったり、近所で助け合いができない部分は、地域自主組織に担ってもらう手もある。

# 我が町最大の課題は

町長

## 現役世代の定住施策の充実



岡田 聡 議員

【町長】最大の課題は、人口減少問題であると考えている。特に現役世代の流出で、後継者不足や地域活動が継続できないなどの問題が発生している。現役世代を引き留める、あるいは戻ってきてもらう施策の充実が必要である。

【岡田】県下で最も若い町長ということで注目を集めている竹口町長、若さを武器に思い切った施策の実行も時には必要と考える。我が町の最大の課題をどう捉えているか。その改善、解決策は。



活況を呈する大山口南団地

【岡田】子育て支援での無償化や助成、継続的な財源確保は。

【町長】事務事業の見直しや、ふるさと応援基金を考えている。

【岡田】行財政改革の手法は。

【町長】費用対効果やすでに役割を終えているものなどを考えている。

【岡田】買い物弱者の利便性向上は。

【町長】デマンドバスやタクシー助成制度の見直しは公共交通会議で検討し、町民の皆様がさらに外出しやすいうようにしたい。